

家庭における情報環境について (2)

各家庭のインターネット環境はあとわずか4年で一変します(こんなこと言い切っ
ていいのは不安がありますが)。だいぶ前から構想だけは出ていて、いつのことや
らと考えられていた各家庭への光ファイバーの敷設F T T Hが現実味を帯び、ヘビー
ユーザ向けだったA D S Lやケーブルインターネットが、誰にでも気軽に利用できる
サービスになります。これまで、I S D Nやアナログ回線のモデムでの接続を前提と
していたサービスはもう終わりとなります。1年前にはまだまだ先という考えが常識
であったものが今年は崩壊していきます。これかこの5年間はどうなっていくのか誰
も解答を持っていません。混沌とした時代であるからこそいろいろなビジネスチャン
スが生まれるでもあり、もし乗り遅ればこれからの未来は無くなるかもしれませ
ん。それほど大きな変化となるかもしれません。

過程がどう変わっていくかは次回にしてみまは通信回線です。前回も書きました
が、有線ブロードバンドネットワークスが始めたサービスは100Mビット/秒で月
額4900円です。これには専用モデムの使用料月額900円は含まれませんが、イ
ンターネット接続サービスが含まれます。これまで通信回線は事実上N T Tの独占状
態でした。A D S Lのサービスを行う会社も通信回線(電線)はH T Tの回線を使用
し、電話局内にサービス会社の接続機器を設置することによってサービスの提供を
行っていました。しかし、規制緩和によって電柱を利用したケーブル敷設が事実上自
由化されたこともあり、ケーブルテレビなどの光ファイバーの敷設も既存の電柱を利用
することが可能となっています。今回の有線ブロードバンドネットワーク以外でも
自前でケーブル敷設を行う会社や、各電力会社による光ケーブル敷設によるサービス
が全国で始まっています。そのほかには、これまでは高速と説明してきた中・低速ブ
ロードバンドであるA D S L、ケーブルインターネットがあり、2.4GHz帯を使
う無線インターネットのサービスが続きます。有線ブロードバンドネットワークスが
安いサービスを提供できたのは、需要の高い地域を優先して設備投資し、採算性を確
保したうえでユーザの希望する価格設定にしたため、N T Tは同じ月額5000円
でも10Mビット/秒で、インターネットの接続費用も含んでいませんが、提供エリ
アを地域限定せず希望者への提供となっています。さらに、これまでのようにN T T
の独自技術を誇示するのではなく、一般的E t h e r n e t技術を採用するよう方向
転換を行い、これまで電話との多重を前提としたものからデータのみ回線提供と
なっています。一方ようやく地方でも提供の始まったA D S Lについては既に状況は
厳しいものになっており、F T T Hが始まるとさらに厳しくなっていくことが予想さ
れています。無線インターネットは、P H Sを利用したものと電力会社の光ファイ
バーを使い、引き込みのみを無線にするものがありますが、実用上問題ないスピード
を提供することによって低価格をアピールしています。

2回にわたってこれからの家庭向け通信回線について書いてみましたが、1年前の
常識が今では常識ではなくなっています。一部でしかできなかった常時接続が、全国
展開し、高速なA D S Lが始まったかと思うと光ファイバーの普及が活発となりA D
S Lが厳しい状況になっています。電話で数十Kビット/秒の低速だけであった家庭
の情報の接点で、1Mビットから10M、100Mビットへと一気に高速化することが
見えてきました。次回からはようやくそうなったときに家庭環境がどうなるか(も
ちろん私見ですが)を書いてみたいと考えています。(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 6月4日号

特集 IPv6に進路をとれ

→ブロードバンドと常時接続がインターネットに地殻変動を起こす。いつでも誰でもがインターネットにつながるとIPアドレスが不足する。次世代のインターネットプロトコル「IPv6」が登場し、128ビットのアドレス（現在は32ビット）を持ち業界は一気に対応を始めた。

解説 パソコンを飲み込むPS2 ゲーム機貫くXbox

→インターネット接続を前面にゲーム機から総合情報機器となるPS2。一方XboxやGamecubeはあくまでゲーム機を貫く。

○日経パソコン 6月11日号

特集 実践 電子スクラップ

→あふれかえる情報の中で紙の書類をパソコンでファイリングする方法について。情報は画像で管理し、OCRはあくまで補助。お金をかけて専用ソフトでのファイリングまで。個人情報の管理から会社での管理まで。

特集 15万円で買うギガヘルツパソコン

→1GHzを超えるパソコンが手に入りやすくなっている。店頭のパソコンと直販パソコン、長く使うことを前提にした選び方は。

レポート 思い出のカセットをCD-Rに焼こう！

→昔の思い出が詰まっている捨てられないカセット。いい音で録音するならUSBのオーディオユニットなどの周辺機器を利用するほうがいい。

○日経オープンシステム 6月号

特集 Linuxは基幹系に使えるか

→基幹系で使われ始めているLinux。安定性、可溶性は商用UNIXに迫り、データベース、アプリケーションも増えているが、周辺ソフトのバグに注意する必要がある。

検証 11Mbps無線LANの実力

→使える機器が発売となってきた11Mbpsの無線LAN。実際に使ってみるとどの程度の性能があるのか。スループットは距離5mで5.7Mbps、10mで4.7Mbpsで、5mで端末5台で1.3Mbpsまでに落ちる。また、障害物の影響は少ないが、電子レンジやBluetoothとの電波干渉には注意が必要。

○日経ネットビジネス 6月10日号

特集 失敗の研究

→ネットバブル崩壊から1年、ベンチャー企業が苦境にたっている。どこが問題だったか、その失敗の事例から次への一手を模索する。

メディア 次世代の衛星データ放送

→2001年末にスタートが見込まれるCSデジタル放送。データ放送を用いた蓄積型双方向サービスでインターネット上の電子モールと同様のサービスをテレビで楽しめるようになるが、各社が陣取り合戦を始めている。

○DOS/V magazine 7月1日号

特集 最強CPUと無敵マザー

→インテルがPentium 4への意向を打ち出し、1.7GHzのリリースで性能的には魅力的になるがしかし今年中に0.13 μ mプロセス版(Northwood)が予定され、現状のマザーボードでは利用できない可能性がある。現状でのパフォーマンスとグレードアップを探る。

特集 最新デジカメ用途別購入ガイド

→各社から新型デジカメがいろいろ発売されている自分の使用用途に合ったデジカメはどれか、用途別に選んだデジカメの仕様詳細。

特集 iPAQ、ZAURUS、CLIE達人の技

→人気のPDAについて、どんなマシンかの紹介から達人技の紹介まで。